

東アジアにおける、漢学、

— 十七世紀の東アジア社会と漢学の諸問題 —

明清変革期であるだけでなく世界史的にも大きな変動をと
もない、近代に向かう起点としてとらえられる十七世紀に
焦点を当て、この時期の東アジア諸地域の学術文化の動向
を「漢学」を窓口として探る。東アジア諸地域において
「漢学」がどのように学ばれ、またそれが各地の特色ある
学術文化の形成とどうかかわったかを多角的に検討する。

日 時

2013年 **11月30日(土)**

13:00~17:00
(受付12:30~)

場 所

九段1号館201教室

入場無料

基調講演

金 文京 (京都大学 人文科学研究所 教授)

13:00 ~ 13:50

「東アジア国家観・世界観の変遷と17・18世紀の文化交流」

事例報告

・エマニュエル・パストリッチ (韓国・慶熙大学校)

・鍋島亜朱華 (台湾・清華大学)

・王 宝平 (中国・浙江工商大学)

・稲田 篤信 (二松學舎大学)

総合討論

【問い合わせ】 二松學舎大学文学部 〒102-8336 東京都千代田区三番町6-16

電話03-3261-7406 <http://www.nishogakusha-u.ac.jp/>

【アクセス】 地下鉄東西線・半蔵門線・新宿線「九段下」駅下車、2番出口より徒歩8分
JR「市ヶ谷」「飯田橋」駅下車、徒歩15分